

美しい多摩川フォーラム 平成30年度・第3回運営委員会議事録

日 時 : 平成31年3月14日(木) 15:00～16:30
会 場 : 立川グランドホテル(JR 立川駅北口)2階キャンティ
出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学総合政策学部教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
平岡 治房 青梅信用金庫理事長
委 員 橋本 昌 羽村市 産業環境部長
池田 優 狛江市 企画財政部政策室 企画調整担当 主任
辻 和己 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 係長
組澤 伊浩 京王電鉄(株) 広報部 主任事務員
大東 一裕 東京急行電鉄(株) 社長室サステナビリティ推進部 企画課 主査
早乙女 尊幸 小田急電鉄(株) CSR広報部調査役
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会 総務部長兼調査部長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
木村 康雄 東京都森林組合 代表理事組合長
渡邊 勇 青梅・多摩川水辺のフォーラム顧問
山崎 充哲 ふれあい移動水族館館長
堤 香苗(株) キャリア・맘 代表取締役
坂本 達也 (株)JTB東京多摩支店営業第一課長
馬場 真人 (株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長
高野 源一 (特非)緑の大地会事務局
滝井 寛 明星大学 事務局次長兼地域交流センター長
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)平成30年度事業決算見通し(案)
(第2号議案)平成31年度事業計画・同予算(案)
(第3号議案)平成31年度総会の開催日程等について(案)
(資料 1)「多摩川一斉水質調査について(過去11年間のデータ分析と考察)」
(資料 2)多摩川子ども環境シンポジウム実行委員会(3/6)
(資料 3)桜ウォーキングと桜守学校(青梅駅～梅岩寺～釜の淵公園、リビング多摩)(3/27)
(資料 4)桜コンシェルジュ展に協力(3/29～4/11)
(資料 5)第10回“美しき桜心の物語”の語り会(八王子市・大光寺、語り部・かたりすと平野副会長)(3/30)
(資料 6)多摩川“水”大学講座(府中市と共催、講師・小倉副会長)(5/17)

(資料 7)平成31年度会議の予定および活動予定、懇親会のお知らせ

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて52名で、運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。

本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(株)JT B東京多摩支店 営業第一課長 坂本 達也 様)

坂本と申します。2月1日付で、加藤の後任として参りました。大学が成蹊大学なので吉祥寺には来ていたものの、約15年間は千葉で働いており、多摩地域についてまだまだ知らないことが沢山ありますので、色々な活動を通じて多摩地域を勉強していきたいと思ます。よろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成最後の運営委員会です。今年は桜の咲く時期が早まっているそうです。私の学校には2,000~3,000本の桜がありますが、入学式の頃には葉桜になってしまうのではないのでしょうか。自然が相手ですので、桜の開花時期もそうですが、地震の予想も難しくなっています。私たちも地域自然を生かし、経済の活性化に繋げていきたいと思ますので、よろしくお願いいたします。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

本日は、前回時間を取れなかった意見交換に十分な時間を割くため、映像等のご用意はございません。あらかじめご了承ください。それでは経過報告に入ります。前回の運営委員会以降の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。

(1) 多摩川一斉水質調査新地点の現況確認および選定作業(2/6、2/8)

- ・ 昨年10月より本年2月まで延べ12日間に亘り、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認および見直し選定作業を進めてまいりました。最終的に新たな調査地点を含め合計52地点で取り纏めました。本件は、渡邊環境清流部会長、山崎運営委員のボランティアによる全面的なご協力のもと実現しました。どうも有り難うございました。

(2) 第3回三部会合同部会 (2/20)

渡邊・環境清流部会長報告「多摩川一斉水質調査について(過去11年間のデータ
分析と考察)」【資料1】

- ・ 会議の詳細については、美しい多摩川フォーラム公式ホームページに議事録を掲載しておりますのでご覧ください。なお、当日は、渡邊環境清流部会長より、「多摩川一斉水質調査について(過去11年間のデータ分析と考察)」というテーマで、詳細な報告がありました。本日はその中からポイントを渡邊部会長よりご報告させていただきます。【資料1】をご覧ください。渡邊部会長、よろしくお願いたします。

(渡邊環境清流部会長)

美しい多摩川フォーラムは、2008年6月～2018年6月までの11年間にわたり、多摩川一斉水質調査をおこなってきました。その結果を一度整理し、データ分析をしてみました。今日はポイントだけを報告させていただきます。

調査日は6月第1日曜日で、多摩川本・支流75地点を調査しました。調査者は一般市民なので、調査項目は気温、水温、化学的酸素要求量(COD)、電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンを、簡単な分析機器を用いて計測しました。水質調査に参加した人数は毎年120名ほどで、延べ人数は約1,320名となります。

水質測定結果は図をご覧ください。多摩川本川のCOD値をグラフ化したものです(11年間の平均値)。CODとは、水の中に含まれている有機物による汚れを数値であらわしたものです。COD値が0～3未満が「きれい」、3～6未満が「やや汚れている」、6以上が「汚れている」となります。45番・JR八高線鉄橋下は数値が3以下なので「きれい」だと言えますが、多摩川上流水再生センターや八王子水再生センターで下水処理された水が入る47番・多摩大橋下は数値が6以上で、急激に数値が高くなっています。この地点より下流には下水処理場が10ヵ所あるので、多摩川の水の6割は下水処理水だと言われています。47番以降の数値は、上下変動がありながらも平均すると4くらいなので、「やや汚れている」と言えます。

これらの結果はあくまでも一般市民が測定した結果なので、東京都や国交省が測定した値を見てみると、下流が4、上流が1なので、私たちの測定結果と大きな違いはありません。ただ、私たちが測定した値は場所によってばらつきがあります。これは、安全のために川岸で採水するためだと思われます。71番・丸子橋下水処理出口下流側は一番高い値が出ています。

裏面をご覧ください。多摩川水質のまとめです。

● 拝島橋より上流

- ・COD:1mg/L 前後(きれい)、・電気伝導率:10mS/m 前後、・硝酸態窒素:0.5mg/L 前後、・リン酸態リン:0.01mg/L 前後

● 拝島橋より下流

・COD:4mg/L 前後(やや汚れている) 、・電気伝導率:40mS/m 前後、・硝酸態窒素:4.0mg/L 前後、・リン酸態リン:0.3mg/L 前後、・アンモニウムイオンや亜硝酸イオンがわずかに検出されている。・1月と2月の気温が1℃前後に対して水温が10℃前後と比較的高い。・水浴場判定基準の一つである「ふん便性大腸菌」1000個/100mL を超えるところが見られる。・河川水はわずかに川藻臭や下水臭がある。(一部、都や国交省のデータを引用)

昭和30年代後半から都市の過密化現象が急激に進行し、生活排水や工場廃水による水質汚濁が問題になりましたが、今はきれいになっています。ただ、きれいになっていると言っても、実際はどうなのか、測定してみないとわかりません。そのため、私たちは2008年から多摩川一斉水質調査をおこなってきました。結果、多くのアユが遡上していることがわかりましたので、多摩川がきれいになっていることは間違いありません。しかし、下水処理水が入る場所とそうでない場所で違いがあることもわかりました。本来であれば、拝島橋から上流のような水質を、下流でも維持出来ることが理想です。今後、下水処理技術がさらに高度化し、多摩川の水がきれいになることを期待しております。一方で、下水処理場を発電機として活用する研究開発もされています。下流の水をきれいにする方法として考えられるのは、羽村と小作取水堰で飲み水用のきれいな水を取水しすぎないことです。そのためには、例えばトイレで流す水に雨水を活用する等、家庭で使う水道水の量を節約することが必要です。今後も、美しい多摩川フォーラムとして多摩川一斉水質調査を継続し、多摩川の水質向上、水循環に関心を持ち、地域に活きた親しめる川の復活を目指します。以上で報告を終わります。

(事務局)

有り難うございました。経過報告を続けます。

(4) 多摩川子ども環境シンポジウム実行委員会(3/6)【資料2】

- ・ 本年1月29日に開催された運営委員会で、細野会長より「多摩川子ども環境シンポジウムの募集および審査について、実行委員会で議論するように」との指示がありました。これを受け、3月6日に渡邊運営委員、山崎運営委員、奥山アドバイザーにお集まりいただき、実行委員会を開催しました。その内容につきましてご報告させていただきます。【資料2】をご覧ください。実行委員会の要旨を纏めたものになります。メンバーは、渡邊運営委員、山崎運営委員、奥山アドバイザーと事務局で、小倉副会長は所用によりご欠席となりました。実行委員会の内容について簡単にご説明させていただきます。

1) 発表者の募集について

●応募者が減っている要因1

ここ2・3年で応募者が右肩下がりになっている。シンポジウムの意義や目的を伝えることができているのではないか。

→多摩川子ども環境シンポジウム憲章を作成して募集要項を見直し、子どもたちにシンポジウムの意義や目的をしっかりと伝え、発表したくなるような内容にする。

●応募者が減っている要因2

「みんなの発表誌」を廃止したのが原因ではないか。今まではこの冊子を見せることによって新たな応募者をお誘いすることができていたし、実際に発表した子が「みんなの発表誌」で受験に合格した子もいる。

→多摩川フォーラム設立10周年記念事業の予算を確保するため、第8回を最後にやむを得ず冊子の発行を取りやめた経緯がある。毎年7月に発行している「多摩川っ子」を吸収合併させて「みんなの発表誌」を復活させ、規模を縮小(総ページ数を減少)させれば、それぞれを単独で発行していた予算の2/3程度に縮小させることができる。ただし本件は100年プランの変更に当たるため、11月の運営委員会で協議事項として上程する必要がある。

2) 発表者の審査方法について

●現行の審査方法

発表者は、自分以外で良かったと思う発表者2組に投票する。投票結果を集計し、最終的には審査員(フォーラム役員)がグランプリ、準グランプリ、審査員特別賞を決める。しかしながら、グランプリ、準グランプリについては、過去2回とも子どもたちの投票結果がそのまま賞に反映された。

●問題点

子どもたちの投票結果がそのまま賞に反映されただけで、審査講評もないため、何が良かったのか、何が足りなかったのかを子どもたち自身が把握できない。大人目線での審査も必要。一方で、子どもたちだけで評価をすることが良いという意見もあり、賛否両論となった。

●改善点

現在の審査方法にプラスして、当日来場のフォーラム役員にも審査員として投票用紙に記入いただき、子どもたちの投票結果と合わせてグランプリ、準グランプリを決定する。また、投票結果を踏まえ、審査員が審査員特別賞を決定する。第7回目までは多摩川フォーラム役員が審査講評をしていたが、発表者の年齢が園児から中学生まで幅広く、どこに基準を置いて良いのか判断が難しく、講評する人の負担が大きいため、現在はおこなっていない。新たに講評できるような人(校長先生や元校長先生等)をお願いし、発表者全員への講評を復活させる。

3)その他

第8回を最後に発表者・引率者への交通費支給は取りやめている。それが発表者減少の一因になっているかもしれないので、発表者には、参加経費として1団体当たり5千円を支給する。

授与式は、会長が出席される場合は会長がおこなう。また、グランプリ、準グランプリ、特別賞については、得票数も発表する。

(事務局)

説明は以上になりますが、本件について何かご質問等ございますか。

(山崎運営委員)

補足説明させていただきます。このシンポジウムは、昭島市のフォレスト・イン昭和館の、フカフカのジュータンが敷かれた結婚披露宴場でおこなわれます。児童たちにとって、特別な一日となるはずです。先ほど「みんなの発表誌」の話が出ましたが、実際に、この発表誌を私立中学校受験に利用する子がいますし、ほぼ合格しています。子どもたちの未来に繋がる、何かを残してあげられるほどの冊子であると自負しておりますので、皆様のご協力をいただければと思います。

(事務局)

なお、先ほども申し上げましたが、「多摩川っ子」を吸収合併させて「みんなの発表誌」を復活させ、規模を縮小させる件につきましては、100年プランの変更に当たることから、正式には次回11月の運営委員会で協議事項として上程させていただきたいと存じますが、募集の告知が7月頃より始まることから、日程の関係で先行して進めさせていただくということでしょうか・・・(拍手)。

(細野会長)

皆さんの賛同が得られたようです。正式には11月の運営委員会の議題として承認いただくことが前提になりますが、事務局は自信を持って先行して進めてください。

～当面の予定～

- (5)多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「携帯マップ」改訂版完成(3月中)
- (6)多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・リニューアルオープン(3月中)
 - ・ (5)および(6)につきましては、多摩川夢の桜街道の札所見直しに伴う改訂となります。1月29日に開催された運営委員会において、多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「携帯マップ」改訂版および公式ホームページ・リニューアルオープンに

つきまして、ご報告させていただきました。まもなく「携帯マップ」改訂版が完成し3月20日に納品される予定です。このタイミングに合わせてプレスリリースの準備を進めております。また、「多摩川夢の桜街道」公式ホームページにつきましては、15日にリニューアルオープンする予定ですが、正式には多摩川フォーラムのホームページ上で公表させていただきますので、役員の皆様におかれましては、ぜひご覧いただければと存じます。

(7) 100年プラン・パンフレット完成(3月中)

- ・ 1月29日に開催された運営委員会においてご報告させていただきましたが、こちらも3月20日に納品される予定です。

(9) 桜コンシェルジュ展に協力(3/29～4/11)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。昭和記念公園花みどり文化センターにて開催される桜コンシェルジュ展に、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所」についてPRしようと、全88ヵ所の札所のA3サイズの写真を展示することになりました。写真の左上には「多摩川夢の桜街道」ロゴ・札所番号・名称が入り、写真右下には美しい多摩川フォーラムのクレジットを入れ、1枚毎にパウチします。この桜コンシェルジュ展は、今春で第12回目となり、毎年、大谷桜守が中心となって、くにたち桜守の活動等を紹介する内容となっております。館内には昭和天皇記念館もありますので、ぜひ会場に足をお運びくださいませ。なお、ご希望がございましたら、この写真は貸出しをさせていただきますので、展示会等で使用される場合は、ご連絡ください。

(10) 桜の植樹式(3/31)

- ・ 昨年11月15日開催の平成30年度・第1回運営委員会でご承認いただいた、大田区への桜の寄贈についてです。2月20日に当フォーラム運営委員のNPO法人・緑の大地会を通じて、カンヒザクラ3本が納品され、3月31日に羽田空港跡地で開催される「桜の植樹式」には、細野会長がご出席される予定です。

～平成31年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

- ①第10回“美しき桜心の物語”の語り会(八王子市・大光寺、語り部・かたりすと平野副会長)
(3/30)【資料5】
 - ②桜ウォーキングと桜守学校(武蔵小金井駅～都立武蔵野公園、リビング多摩)(4/5)【資料3】
- ・ 【資料5】をご覧ください。年々、桜の開花が早まっていることから、今年度は前倒しで3月30日に開催することになりました。今回も平野副会長にご出演いただき、八王子市様と連携して、大光寺にて桜の語り会を開催いたします。大光寺には、樹

齢400年のシダレ桜、樹齢200年のエドヒガンと、2本の銘木がありますので、ぜひご参加ください。

(2)多摩川“水”大学講座(府中市と共催、講師・小倉副会長)(5/17)【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。8年目となる今年度は、府中市様との共催のもと実施する予定です。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。事務局からは以上です。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

有り難うございました。事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。それでは第1号議案の「平成30年度事業決算の見通し(案)」について、事務局の方からご説明をお願いします。

4. 協議

(1)第1号議案:平成30年度事業決算見通し(案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。今年度の事業活動につきましては、ほぼ計画どおりに進めております。多摩川フォーラムは昨年度10周年を迎え、今年度につきましては、次の10年に向けてしっかりとした基盤を固めるべく、基盤の再構築に注力しました。具体的に申しますと、まず、「多摩川夢の桜街道」に関しては、先ほどの経過報告で触れさせていただきましたように、札所の見直しを実施しました。これに伴い、携帯マップ、そして「多摩川夢の桜街道」公式ホームページを改訂しました。また、多摩川一斉水質調査については、全調査地点の見直しを実施、新たな調査地点を確定し、整備しました。「フォーラム・御岳の森」については、木柵老朽化のため改修工事をおこない、毎年人気の高い「炭焼き体験と水辺の交流会」が安全に実施できるように整備しました。なお、「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに関しては、携帯マップ改訂の内容を当初の想定より充実させたこと、また、「多摩川夢の桜街道～桜の札所」のリニューアルを記念してホームページに掲載するため、ドローンを活用した多摩川空撮映像を桜にフォーカスして編集・制作したことにより、当初の計画より上振れしております。

次ページは、平成30年度活動報告と今後の予定になります。後ほどゆっくりとご覧ください。以上で、第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第2号議案の「平成31年度事業計画・同予算(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(2)第2号議案:平成31年度事業計画・同予算(案)

(事務局)

【第2号議案】をご覧ください。これは、1月29日の運営委員会でご承認いただいた平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)をベースに、その後さらに見直しを進め、今回の案に改めた資料になります。

まず、収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、同じく青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金4,044,776円と合わせて合計では14,294,805円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,350,000円、各種活動費として7,536,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり平成31年度予算に計上しております。また、平野副会長の全面的なご協力のもと、毎年4月に開催している「桜の語り会」は、ここ数年で桜の開花時期が早まっていることから平成31年3月に前倒しで開催する計画です。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。また、各事業報告としてビデオに纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。この結果、次期繰越金見込額は3,408,805円となり、合計では14,294,805円となります。

次ページは、平成31年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の“美しき桜心の物語”の語り会は、八王子市様のご協力をいただき、高尾駅前の大光寺での開催を計画しております。多摩川酒蔵街道は第6回目を迎え、毎年恒例となった「はとバスツアー」や「JRお座敷列車」が好評を博すなど、定着しつつありますが、さらにこの運動を活性化するため、スタンプラリーの導入を検討しております。

環境軸の多摩川一斉水質調査につきましては、今年度、渡邊部会長、山崎運営委員のご協力のもと、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認調査を実施、調査地点の見直しをおこないました。その結果を踏まえ、新たなスタートを切りたいと考えております。多摩川“水”大学講座につきましては、引き続き小倉副会長にお願いし、平成31年度は8年目となります。府中市様と共催する方向で計画を進めております。

教育文化軸では、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を実施できればと計画しております。以上で、第2号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

議案とは直接関係ないと思いますが、10周年を記念して、アルピンさんの提供でロゴマークを作成しましたよね。その後、使い道はあるのでしょうか。

(事務局)

正確にはシンボルマークですが、まもなく発行される多摩川フォーラムのパンフレットに使用しています。今後も、イベント等で告知するものに使えればと思いますが、もともとロゴマークもありますので、用途に応じて使い分けていきたいと思っています。

(細野会長)

有り難うございました。他にありませんでしょうか。はい、どうぞ。

(平岡副会長)

「“美しき桜心の物語”の語り会」について、桜の開花が早まっているということで、平成31年度の事業を、実際には平成30年度の3月30日に開催するということですが、今後も翌年度の事業を前年度におこなうのであれば、どこかで修正していかないといけないのではないのでしょうか。

(事務局・及川)

この件に関してはよく整理していきたいと思いますが、はたして来年の春、場所にもよりますが、4月に開催したほうが良いのか、3月に開催したほうが良いのか。基本的な考え方というのは、「毎春1回開催する」ということですので、3月に開催する場合と4月に開催する場合があります。年度で言いますと、2回開催する年度もありますし、開催しない年度もあるかもしれません。この点については、前回の運営委員会で「今回は3月に開催します。今後もそのような場合もあり得ます」と補足説明させていただきましたが、ごもっともな意見をいただきましたので、皆さんにわかりやすいように整理してまいりたいと思います。

(細野会長)

100年の計画ですから、気候変動がどうなるか分かりませんが、いま副会長がおっしゃったように、スパッと年度末でやってしまうという形にするとスムーズに行くのかなと思いますが、事務局はどうですか。

(事務局・野村)

今年は3月30日に開催しますが、その時にはすでに桜が散っている可能性もありますので、いま平岡副会長がおっしゃったように、「桜の語り会は3月に開催する」と、どこかで決めて、それ以降は毎年3月の良い時期に開催していくのも一案だと思いますので、事務局でもう一度検討し、提案させていただきたいと思います。

(細野会長)

はい、よろしくお願いします。それでは第2号議案につきまして、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。では、第3号議案の平成31年度総会の開催日程等について(案)を、事務局の方からご説明をお願いします。

(3) 第3号議案:平成31年度総会の開催日程等について(案)

(事務局)

【第3号議案】をご覧ください。開催日は5月25日(土)で、時間は9時半～11時半です。開催場所はフォレスト・イン昭和館で、例年通りです。開催内容としまして、会長挨拶、来賓挨拶、経過報告、議案協議、その他、意見交換、「多摩川の歌」ほか合唱を予定しております。今回は、2年に1回の改選期となりますので、よろしくお願いいたします。以上で、第3号議案の説明を終わります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。この内容だけですと、参加したいと思うだけのインセンティブが低くなるかもしれませんね。そのあたりの工夫はありますか。

(事務局)

その点については、事務局でも毎年考えており、講演をおこなったりしているのですが、今年は改選期であり、臨時運営委員会もあるため、時間を割くことが難しいです。今年も「多摩川の歌」ともう1曲の合唱を予定しております。

(細野会長)

皆さんのほうで何か良いアイデアはありませんか。少し色を付けるというのも、インセンティブになるのかなと思います。

(事務局)

できるだけ工夫して、一人でも多くの会員の皆さまにご出席いただけるように、内容について再度検討します。

(細野会長)

期待しておりますので、よろしくお祈いします。では、第3号議案につきまして、ご承認いただけますでしょうか…(拍手)。有り難うございました。以上で、3つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。なお、第1号議案から第2号議案までは、総会付議事項ですので、念のため申し添えます。では、事務局より、意見交換をお願いします。

5. 意見交換

(1) 来年度以降の当フォーラムの取り組みについて

(事務局)

前回は十分な時間が取れませんでしたので、今回はしっかりと時間を取ります。美しい多摩づくり運動は100年を見据えた大きな運動です。フォーラム活動も昨年度10周年を終え、事業活動は定着し、安定稼働しつつありますが、今年度の活動部会では、「既存事業にいかにつ加価値をつけていくのか」、「目新しい事業があった方が良い」といったご意見が寄せられました。今日は役員の皆様に、来年度以降の当フォーラムの取り組みについて、ぜひアイデアやご意見をいただきたいと存じます。

(細野会長)

せっかくの機会ですので、反時計回りで皆さんのご意見をいただきたいと思ひます。では、永尾様からどうぞ。

(公財)東京市町村自治調査会 総務部長兼調査部長 永尾 昌文 様)

数年前、「カヌー駅伝大会」の開催について事務局から相談を受けたことがあるのですが、このイベントをもっと育てていき、多摩川の下流まで繋げていくと、一大イベントになるのではないかと思ひます。中継地点で物販をやったり、地域企業のPRコーナーがあつたりすれば良いと思ひのですが、現在は11月下旬の寒い時期に開催しているのでは、桜の時期や紅葉の時期になれば集客も期待できるのではないのでしょうか。すぐにというわけではなく、今後、拡大の方向で話が進めば良いなと思ひてお祈います。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 係長 辻 和己 様)

3月2日に、国土交通省京浜河川事務所の主催で、多摩川改修100年を記念した、子どもたちの合唱コンクールがあり、私も参加しました。発表したのは4校でしたが、内容が素晴らしく、感動しました。先ほど、「多摩川子ども環境シンポジウム」実行委員会の話がありましたが、合唱を発表に加えても良いのではないかと個人的に思ひました。

(株)キャリア・ママ 代表取締役 堤 香苗 様)

地域経済活性化部会の副会長として、経済に関して2点ございます。今後、この活動を続けていくためには会費が重要になると思います。2020年には東京オリンピックを控えていますし、海外から沢山の方が来ますので、イベントの時に、参加費ではなくて、例えば「いいね！チャージ」のような、外国の方にも多摩川を知ってもらえるような仕組み作りが必要なのではないかと思います。場合によっては、会費の会則を変える必要があるかもしれません。

私も音楽は良いと思います。2年ほど前に、多摩川でボサノヴァイベントをやらなかったとお話が来ました。多摩川フォーラムの大きな課題として、会員の年齢がやや上であるというのがあると思います。また、今日の運営委員会でも、出席者は圧倒的に男性が多いです。ファミリーや若者の参加が少ない傾向があると思います。彼らの参加を促すためにも音楽フェスは良いと思います。もちろん、昔青年だった合唱団も良いと思いますし、感動しますが、音楽フェスと言えば、富士山やひたちなか市等、場所が遠いので、多摩川上流でフェスをおこない、キーアイコンになるような、エコや環境を考えていच्छる方で「たまりばーフェス」をやるのが良いと思います。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

先ほど、合唱コンクールの話がありましたが、ぜひ1チームでも「多摩川子ども環境シンポジウム」に出てもらいましょう。また、とうきゅう環境財団さんが研究者に助成金を出していると思いますが、良い研究は多摩川フォーラムで発表をしなければならぬという流れを作ってしまうと良いと思います。そうすれば、どんどん拡がりが出てくるのではないかと思います。

ひとつ残念なお知らせです。稲田公園にあった「おさかなポスト」ですが、川崎市がいけすを壊すことになりました。NPOとして活動は続けますが、いつでも自由に外来魚を持ち込める場所は無くなります。多摩川が「タマゾン川」に逆戻りする可能性はありますので、行政の皆さんも、そういったシステムを考えてください。生態系を守り、生き物を殺さずに済む施設がどこかにできれば良いと思います。

(京王電鉄株) 広報部 主任事務員 組澤 伊浩 様)

弊社では、多摩川クリーンキャンペーンを2年に1回やっており、山崎運営委員にもご協力いただき、ふれあい水族館やアユの放流、紙芝居などをやっていただきました。そういったイベント情報をマスコミに流しても、なかなか取材に来てもらえません。多摩川フォーラムでも、年間で沢山のイベントを開催していると思いますが、もっと周知するためにも、メディアで取り上げてもらえるよう、働きかけが必要なのではないかと思います。

(小田急電鉄(株) CSR広報部調査役 早乙女 尊幸 様)

広報誌「多摩川っ子」を「みんなの発表誌」に吸収合併されるということですが、実は私、毎年7月に発刊されるこの「多摩川っ子」について、ずっと関心を持って見ておりました。誰も子どもの頃は、川の上流の様子や下流の様子がどうなっているのか、気になっていったと思います。この「多摩川っ子」は、可愛いイラストで川の様子を見事にデザインされており、イベント写真やスケジュール等も楽しく記載されていて、これが流域の小学校に配布されていることは、とても素晴らしいことだと思っておりました。そんな素晴らしい活動を、微力ではありますが、弊社でも何かの形でコラボできないかと思っていた矢先だったので、驚きました。しかし、「多摩川っ子」が完全に無くなるわけではなく、「みんなの発表誌」の中でバージョンアップされるというご説明でしたので、魅力ある広報誌になることを期待しつつ、引き続き弊社では、コラボできることを考えていきたいと思えます。

(株)JTБ 東京多摩支店営業第一課長 坂本 達也 様)

近年の旅行は、体験型が求められてきており、その中でも地域に貢献したい、何かの役に立ちたいという観点で参加される方が増えてきています。弊社でも、地域交流プロジェクトでツアーを造成しておりますが、すぐ埋まってしまう状況です。そういった方々を取り込むことができれば良いのではないかと思います。

(富国生命保険(相)立川支社市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

いま、多摩川フォーラムのホームページを見ていたら、アクセスカウンターが11万6千人を超えていたので、活動が定着しつつあるのかなと思いました。そのため、新しいイベントというよりは、既存のものをより深く周知し、多摩地域の魅力を伝えることができれば良いのではないかと思います。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

今日、この会場を見ても男性ばかりです。もう少し、女性の会員を増やす方策を考えていただけないかと思います。

((特非)緑の大地会事務局 高野 源一 様)

平成30年度の活動報告を見ましても、多摩川フォーラムは立派な活動をして来られ、感服しております。我々の得意分野である草刈り等で、多摩川フォーラムに貢献できることがあれば、一生懸命やらさせていただきますので、よろしく願いいたします。

((株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 馬場 真人 様)

多摩川フォーラムの取り組みでいつも感じているのは、大人が気軽に参加できるよう

な事業が少ないような気がします。「多摩川酒蔵街道」事業は、大人や役員が参加しやすいと思いますので、例えば、福生から御岳まで試飲をしながら歩くイベントがあれば良いなと思っております。

(東京都森林組合代表理事組合長 木村 康雄 様)

今年度の活動報告を見ると、日程的にもタフで、事務局も大変だろうと思います。しかしながら、多摩川フォーラムが何をやっているのか、特に多摩川上流域の方は知らない方が多いと思いますので、アピールするための方法論として、各地区でおこなっている産業祭で多摩川フォーラムのPRをすることは必要ではないかと思います。あるいは、青梅信用金庫さんの店舗を活用しながら、多摩川のドローン映像を常に流す等、集客にも繋がってくると思いますし、寄付金の増強にも繋がってくると思いますので、ご検討をよろしく願いいたします。

(明星大学 事務局次長兼地域交流センター長 滝井 寛 様)

本学は、青梅キャンパスがあった頃、このフォーラムに参加させていただきました。しかし、青梅キャンパス自体は残っておりますが、学部は日野キャンパスに引き上げてしまいました。そういったこともあり、なかなか多摩川フォーラムに参画できていないのが現状で、申し訳なく思います。今後、色々な形で、例えば教員の派遣や学生の派遣といった可能性を探っていきたいと思いますので、事前に情報をいただければ、具体的な意見交換等をさせていただきたいと思います。

(東京急行電鉄㈱ 社長室サステナビリティ推進部企画課主査 大東 一裕 様)

弊社では、環境への取り組みとして、二子玉川ライズにビオトープを作ったり、多摩産材が植わっているところをお客様に見学していただいたりしています。昨年からは、自然と都市をライフスタイルで上手く繋げられないかという社会実験等を行っており、いずれは多摩川フォーラムさんとも連携できることがあれば良いと思っておりますが、部署が違いますので、場合によっては事務局と相談していききたいと思います。

((公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長 小野木 喜博 様)

収入面で、事務局の方はだいぶ苦勞されていると思うのですが、少しでも会員増強運動をやられたらどうかと思います。会員になった時のメリットについて知恵を絞り、それを武器に会員増強ができれば良いと思います。

(青梅・多摩川水辺のフォーラム顧問 渡邊 勇 様)

多摩川フォーラムではグリーンキャンペーンをおこなっていますが、ゴミの中で、マイクロプラスチックが大きな問題になっています。この件の専門家をお呼びし、シンポジウム

で講演していただく等、子ども環境シンポジウムの後に大人の発表会があっても良いのではないかと思います。具体的に申しますと、とうきゅう環境財団さんが研究に助成金を出しています。興味深い研究が沢山あります。研究結果はホームページに掲載されていますが、発表会はおこなわれていないようなので、発表する機会があれば良いと思っています。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主任 池田 優 様)

代理出席の立場ではありますが、行政をより巻き込んだ事業展開をされたら良いと思います。行政の良いところは、周知能力にあります。広報に関しては、多摩川フォーラムさんのお役に立てることがいくらでもあると思っています。また、イベントをおこなう際、行政との共催や後援という形を取ったり、「こういった活動を一緒にやりませんか」と多摩川フォーラムさんから投げかけたりしていただければ、行政が手を上げることも可能だと思います。それができればより活動が発展していくのではないかと思います。

(羽村市 産業環境部長 橋本 昌 様)

羽村市では、多摩川フォーラムのネットワークを十分使っていこうと取り組んでおります。これまでも、カヌー駅伝大会やクリーンキャンペーンにも取り組んでまいりましたが、今年は八丈島と羽村の子どもたちを連れて「御岳の森」を活用させていただく予定です。また、昭島市と同じく、地下水を飲料水としている羽村市では、年3回水質調査を行っておりますが、大腸菌群数が高くなっています。原因がはっきりしませんので、多摩川フォーラムのネットワークも使いながら、調査していきたいと思っています。今後も、経済・環境・教育文化について、多摩川フォーラムと一緒に勉強していきたいと思っています。

(細野会長)

有り難うございました。時間が無いので、その他については事務局から掻い摘んで説明してください。

(2)その他【資料7】

(事務局)

【資料7】をご覧ください。現段階における美しい多摩川フォーラム・平成31年度・会議の予定、主な活動予定について一覧に纏めた資料になりますので、よろしく願います。一点、訂正がございます。7月14日(日)に開催予定の「第29回多摩川いかだレース」が選挙の都合で21日に変更になりました。

次に報告です。勤務地の関係で今年度休会中の藪田運営委員と先日お会いし、来年度は運営委員(地域経済活性化部会長)として復帰することについてご確認させていただきました。なお、堤副部会長におかれましては、一年間部会長代理を務めていた

き、誠に有り難うございました。引き続き副部長としてよろしくお願いいたします。

「御岳の森」の利活用について、先ほど羽村市さんからお話がありましたが、皆さんもぜひご活用ください。民間の皆様がBBQにご利用いただくのも良いかと思っておりますので、お気軽にご相談くださいませ。

資料の最終ページをご覧ください。懇親会(有志)について、詳細がまとまりましたので、ご案内させていただきます。まずは現地を見ていただきたいと思いますし、すべて地元の食材、地元のお酒をご用意いたしますので、ぜひ参加くださいませ。

6. 総括・閉会

(平岡副会長)

いま事務局から話がありましたが、懇親会で皆さんと語り合いたいと思います。地元には秋川牛や東京エックスがありますし、誰かご協力いただければシカやイノシシのジビエもあれば良いなと思います。日本酒も青梅ワインもあります。ぜひ多くの皆さまにお越しただければと思います。

(細野会長)

それでは、平成30年度第3回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)